

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月16日

計画の名称	王寺町における良好な水環境の形成と快適な暮らしの環境づくりの実現（第2次）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	王寺町													
計画の目標	・王寺町の下水道整備を行うことにより衛生的で、快適な暮らしを形成し、良好な生活環境を創造する。 ・既存施設の（ポンプ場）に老朽化等による機能低下が発現しはじめており、施設の延命化を図るべく長寿命化対策を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		649	A	649	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道処理人口普及率96.5%から98%を目標に向上させる。			
	下水道処理人口普及率	96%	97%	98%
	下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			
2	長寿命化対策としてポンプ場の電気設備・機械設備更新工事を実施し、健全度を30%から100%を目標に向上させる。			
	ポンプ場の電気・機械設備の健全度	30%	70%	100%
	健全な設備数/ポンプ場設備数			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	王寺町	直接	王寺町	管渠（ 汚水）	新設	葛下川処理分区（未普及 対策）	汚水管 φ 2 0 0 L = 5 8 0 m	王寺町	■	■	■	■	■	52		-
	A07-002	下水道	一般	王寺町	直接	王寺町	ポンプ 場	改築	葛下川処理分区（ポンプ 場）	電気設備・機械設備更新	王寺町	■	■	■			597		策定済
		長寿命化																	
											小計						649		
											合計						649		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

上下水道課により達成状況を検証し評価を行った。

事後評価の実施時期

令和3年5月

公表の方法

町ホームページに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 下水道処理人口普及率が平成28年度当初の96.5%から令和2年度末の97.4%に向上したことにより、公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。
- ・ 処理分区の機械・電気設備の総数178設備の内、66設備の更新を行い、健全度は37.1%となり設備の長寿命化に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人）		
	最 終 目標値	98%	下水道処理人口普及率の向上は汚水管渠整備に依存しており、別事業を含め管渠整備延長を延ばし、普及率の更なる向上を目指した。
	最 終 実績値	97%	
2	健全な設備数 / ポンプ場設備数		
	最 終 目標値	100%	法定耐用年数を超えた機械・電気設備が多くあるが、現状では使用に耐えうる性能を発揮できているため、更新を控えたことによる。今後はストックマネジメントを実施し適正な更新時期を検討する。
	最 終 実績値	37%	